光西寺NEWS mini # 40
真宗大谷派【東本願寺】光西寺　発行
雲仙市愛野町甲 271
☎ 0957-36-0103
お寺のホームページ
アクセスお待ちしてます！

今年は早い梅雨明けで、暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

蝉の声が聞こえるようになりますと、毎年決まったように、一つの言葉が浮かんできます。

蠖蛄春秋を識らず、伊虫あに朱陽の節を知らんや
（けいこしゅんじゅうをしらず。いちゅうあにしゅようのせつをしらんや）

「蠖蛄」とはセミのこと、「伊虫」とは「この虫」という意味で、ここではセミを指します。「夏に成虫となるセミは春や秋を知りません。春や秋を知らないこの虫が、どうして朱陽の節（夏）を知ることができるでしょうか（いえ、できません）」ということです。

セミは夏に成虫となり、精一杯命を尽くして鳴き続けます。春や秋、もちろん冬がどのような季節か知りません。そうであるなら、夏について詳しいかというと、そういうわけでもありません。「春秋」を識らないということは、自分が必死で鳴いている季節が「夏」だということも分からないといわなければなりません。夏に成虫となるセミは、春も秋も識らず、夏が来た！ということも知らずに、いのちを終えていきます。

さて、この言葉は、セミのことを語っただけの言葉でしょうか？

宗祖親鸞聖人御命日定例　ごあんない

2022年7月28日（木）午前9時30分から12時まで
夜8時30分から9時30分まで

7月、8月の夜の定例はサマータイム！

おてらまいりはココロのストレッチ！